

2009年7月8日  
INSTAC成果報告会

**新しいソフトウェア製品の  
品質規格のご紹介  
ISO/IEC 25000シリーズ：SQuaRE**

日本電気株式会社

込山俊博

*ISO/IEC JTC1 SC7/WG6 Secretariat*

[t-komiyama@bk.jp.nec.com](mailto:t-komiyama@bk.jp.nec.com)

# Agenda

---

- **ソフトウェアエンジニアリングの国際標準化**
  - ISO/IEC JTC1 SC7の概要
  - SC7内の作業部会(WG)の活動
- **ソフトウェア製品品質の国際規格**
  - ソフトウェア製品評価標準化の必要性
  - ISO/IEC 9126 & 14598シリーズ
  - 次世代国際規格:SQuaREの概要
- **今後に向けて**

# ソフトウェアエンジニアリングの標準化

- 国際標準化機構(ISO)と国際電気標準会議(IEC)が情報技術(IT)分野の標準化を推進するために1987年に合同技術委員会(JTC1)を設立
  - 前身は、ISO/TC97/SC7。ソフトウェア品質評価の審議は1985年から開始。
- ソフトウェアエンジニアリングの標準化作業をSC7にアサイン

## JTC1 Information Technology

—SC2	Coded Character Sets
—SC6	Telecommunications and Information Exchange Between Systems
— <b>SC7</b>	<b>Software and System Engineering</b>
—SC17	Cards and Personal Identification
—SC22	Programming Languages, their Environments and System Software Interfaces
—SC23	Digital Storage Media for information interchange
—SC24	Computer Graphics and Image Processing and Environmental Data Representation
—SC25	Interconnection of Information Technology Equipment
—SC27	IT Security Techniques
—SC28	Office Equipment
—SC29	Coding of Audio, Picture, and Multimedia and Hypermedia Information
—SC31	Automatic Identification and Data Capture Techniques
—SC32	Data Management and Interchange
—SC34	Document Description and Processing Languages
—SC35	User Interfaces
—SC36	Information Technology for Learning, Education and Training
—SC37	Biometrics

# SC7の標準化スコープ

---

ISO/IEC JTC1 SC7:

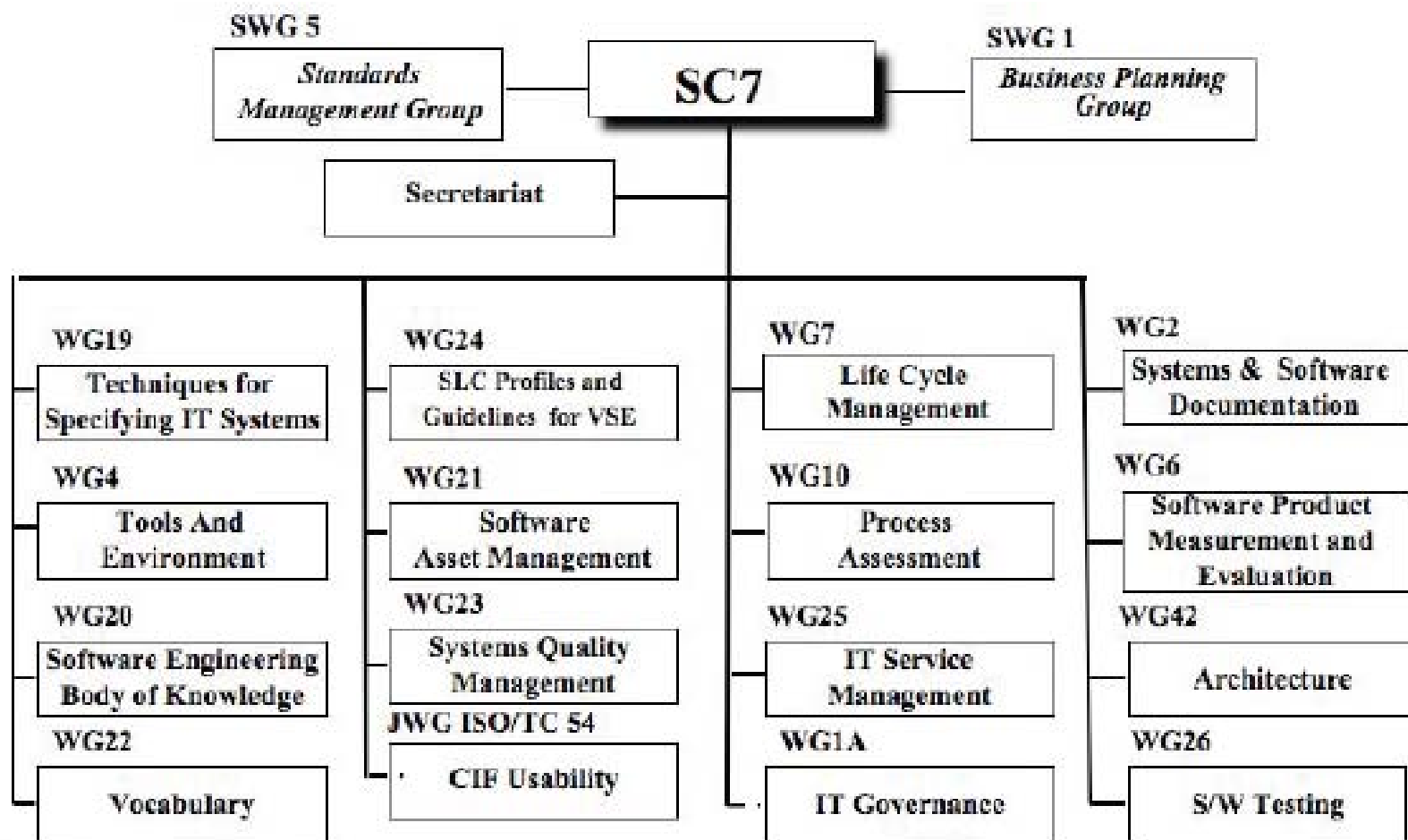
Software and Systems Engineering

## <作業範囲>

**ソフトウェア製品開発及びシステム開発のための、プロセス、支援ツール及び支援技術の標準化**

Standardization of processes, supporting tools and supporting technologies for the engineering of software products and systems.

# SC7の組織構成



# SC7の作業部会（WG）の構成と日本の対応

情報処理学会・情報規格調査会に  
SC7対応の委員会を設置

ISO/IEC JTC1 SC7の作業部会		
WG	Scope	Convener & Secretariat
SC7	ソフトウェア技術及びシステム技術	F. Coallier – Canada
WG2	ソフトウェア文書化	R. Hodgkinson – UK
WG4	ツールと環境	D. Lee - Korea
WG6	評価とメトリクス(含:FSM-機能規模測定)	東(早大),込山(NEC),高橋(電中研)
WG7	ライフサイクル管理	A. Kark - Canada
WG10	プロセスアセスメント	A. Dorling - UK
WG19	ITシステムの仕様化技術	J. Bérubé - Canada
WG20	ソフトウェア技術知識体系	J. Garbajosa - Spain
WG21	ソフトウェア資産管理プロセス	David Bicket - UK
WG22	用語	A. Reilly - USA
WG23	システム品質管理	加藤(コンサルタント)
WG24	小規模企業向けソフトウェアライフサイクル	T. Uthayanaka - Thailand
WG25	ITサービス管理	J. Dugmore - UK
WG26	ソフトウェアテスト	S. Reid - UK
WG42	アーキテクチャ	J. Bendz - Sweden
WG1A	ITガバナンス	A. Holt - N. Z.
JWG with ISO/TC54	使用性のための共通工業様式	M. Theofanos - USA

寄書、  
エディタ  
引受など  
により貢献

国内SC7関連委員会		
SC/WG	主査	メンバー数
SC7	山本(慶大)	33
WG2	山本(慶大)	11
WG4	岸(早大)	9
WG6	東(早大)	21
WG6/FSM	高橋(電中研)	
WG7	村上(富士通)	15
WG10	小川(名工研)	25
WG19	梶原(NTT)	13
WG20	松本(京都高度技術研究所)	13
WG21	高橋(富士通)	7
WG23	高橋(桐蔭横浜大学)	8
WG24	伏見(情報数理研究所)	6
WG25	平野(NEC)	18
WG1A	菊島(IPA)	8

日本規格協会・INSTACの委員会の  
審議に基づき、国際提案、JIS化

# SC7の活動状況

## ■ プロジェクト概況

- 発行済み規格(IS、TRなど):109件(2009年5月時点)
- 作業中のプロジェクト:57件(2009年5月時点)
- 幹事国:カナダ、Pメンバ:38カ国、Oメンバ:18カ国

## ■ スコープの拡張

- 従来:
  - ソフトウェア開発管理のプロセス、技術、ツールの標準化
- 現在:
  - 従来領域に加え、以下のような領域における規格制定に取り組み
    - システム開発に関わるもの
      - 例:ISO/IEC 15288:システムライフサイクルプロセス
    - 技術者のスキル(認定)に関するもの
      - 例:ISO/IEC TR 19752:SWEBOK
    - ITサービスや運用管理に関わるもの
      - 例:ISO/IEC 20000シリーズ:サービスマネジメント
    - 中小規模組織向けのもの
      - 例:ISO/IEC 29110シリーズ:小規模組織向けソフトウェア開発ライフサイクルプロファイル

# 各WGの活動領域と主要規格（Ⅰ）

## ■ WG2:ソフトウェア文書化

- 設計文書、利用者文書などの文書化要領の標準化
  - ISO/IEC 6592: コンピュータ利用応用システムの文書の指針
  - ISO/IEC 18019: アプリケーションソフトウェアのためのユーザー文書の設計及び作成の指針
- 設計書、テスト仕様書、利用者マニュアル等の文書化標準や雛形作成等に活用

## ■ WG4:ツールと環境

- CASEツールの評価、選定指針の標準化
  - ISO/IEC 14102: CASE ツールの評価及び選択の指針
  - 要件管理、構成管理など、個別CASEツールの基本要件規格を策定中
- ソフトウェア開発環境整備の一環としてのCASEツール選定の評価基準の設定、及び自製ツールの機能強化の検討などに適用
- ソフトウェアプロダクトラインの標準制定作業に着手

## ■ WG6:評価とメトリクス

- ソフトウェア製品の品質評価のプロセスと測定法の標準化
  - ISO/IEC 9126(4分冊):ソフトウェア製品品質
  - ISO/IEC 14598(6分冊):ソフトウェア製品評価
  - ISO/IEC 25000(16分冊:2009/7時点):SQuaRE(ソフトウェア製品品質の要件と評価)
- 高品質ソフトウェアを追求すべく、多角的な視点からの品質要求の定義とライフサイクルを通じた品質評価に活用
- ISO/IEC 9126の品質特性及びメトリクスを用いた製品品質認証制度を欧州、韓国などで実施
  - 韓国のテストラボの方の話ではすでに数百オーダの製品認証を実施

# 各WGの活動領域と主要規格（II）

## ■ WG6/FSM: 機能規模測定法

- ソフトウェアの機能規模の測定法の標準化
  - ISO/IEC 14143シリーズ(6分冊): 機能規模測定
  - IFPUG法、COSMIC-FFP法など、個々の方法の標準化
- 機能量に基づいて、より精度の高い見積りや生産性の評価を実施
- 主要な規格は既に制定済み。個別の方法を定めた規格の改版など、全体整合の維持を実施

## ■ WG7: ライフサイクル管理

- 種々利害関係者間でのソフトウェア作業の共通理解の基盤となるライフサイクルプロセスの標準化
  - ISO/IEC 12207: ソフトウェアライフサイクルプロセス
  - ISO/IEC 15288: システムライフサイクルプロセス
- IPA/SEC策定の共通フレーム2007の基盤
- 契約時の作業範囲合意の基準として、また部門間連携/パートナー連携作業の効率化の基盤として活用

# 各WGの活動領域と主要規格（Ⅳ）

## ■ WG10: プロセスアセスメント

- ソフトウェア組織のプロセス能力レベル及び組織成熟度レベルを評価するための枠組みの標準化
  - ISO/IEC 15504シリーズ(9分冊): プロセスアセスメント
- ソフトウェア組織のプロセス能力の評価と改善に活用
- 本規格に準拠したアセスメントモデルAutomotiveSPICE、SPICE for SPACEなどが策定され、欧州を中心にアセッサの育成と認定のスキームを整備
- ISO/IEC 15504シリーズは、ISO/IEC 31000シリーズとして再編予定
- ベンチマーキングプロセスの標準化にも着手

## ■ WG19: ITシステムの仕様化技術

- モデリング言語, メタデータ, ODP(Open Distributed Processing)フレームワーク及びその構成要素の標準化
  - ISO/IEC 19501: Unified Modeling Language (UML)
- 標準的な仕様化技術を活用することにより、利害関係者間の齟齬のない技術情報の受け渡しを実現

## ■ WG20: ソフトウェア技術知識体系

- ソフトウェアエンジニアリング基礎知識体系及びソフトウェアエンジニアリング・プロフェショナル認証のための規格の策定
  - ISO/IEC TR 19759: ソフトウェア工学基礎知識体系(SWEBOK)
- 将来的には、国際的なプロフェッショナル認定の相互認証スキームへと発展する可能性。

# 各WGの活動領域と主要規格（VI）

## ■ WG21:ソフトウェア資産管理プロセス

- ソフトウェアタグ等を活用したソフトウェア資産管理の標準化
  - ISO/IEC 19770-1: ソフトウェア資産管理－第1部:プロセス
  - ISO/IEC 19770-2: ソフトウェア資産管理－第2部:タグ
- 不正使用の検出など含め、組織内のソフトウェア製品の利用状況の把握に活用

## ■ WG22:用語

- ISO/IEC, IEEE等の関連する標準の中の語彙を蓄積したデータベースシステム構築を検討
  - ISO/IEC 24765: Systems and software engineering vocabulary
- 利害関係者間のコミュニケーションの円滑化を図るべく、ソフトウェアエンジニアリング用語集として参照

## ■ WG23:システム品質管理

- ISO 9000のソフトウェア領域への適用ガイドを策定
  - ISO/IEC 90003: コンピュータソフトウェアへのISO9001:2000の適用の指針
- ソフトウェア組織におけるQMSの改善のトリガ、又はISO9000導入の際のリファレンスとして活用

## ■ WG24:小規模企業向けソフトウェアライフサイクル

- 小企業向けソフトウェアライフサイクルを扱う新設のWG
  - 規格は未発行

# 各WGの活動領域と主要規格（VII）

## ■ WG25:ITサービス管理

- ITのサービスレベル維持のためのITサービス管理の標準化
  - ISO/IEC 20000-1: サービスマネジメントー第1部:仕様
  - ISO/IEC 20000-2: サービスマネジメントー第2部:実践のための規範
- ITサービス提供部門におけるサービスレベルの維持、向上に活用
- 認証取得を視野に入れた対応が必要になる場合もあり

## ■ WG26:ソフトウェアテスト

- ソフトウェアテスト技術の標準化を扱う新設のWG
  - 規格は未発行

## ■ WG42:アーキテクチャ

- ソフトウェアシステムのアーキテクチャ記述の標準化
  - ISO/IEC 42010: ソフトウェアを中心としたシステムのアーキテクチャ記述のための推奨規範
- アーキテクチャ設計の際に、概念モデルやプラクティスを参照

## ■ WG1A:ITガバナンス

- ITガバナンスの標準化を扱う新設のWG
  - 規格は未発行

## ■ 共同作業部会(SC7 & ISO/TC54):共通工業様式(CIF)

- ユーザビリティテストの標準的な報告様式を規定
  - ISO/IEC 25062: ユーザビリティテスト報告のための共通工業様式
- ユーザビリティ(使用性)が重視されるソフトウェア製品における評価報告の様式検討の際に参照

# ソフトウェア製品評価標準化の必要性

## ■ 製品評価の目的

- 開発した成果物が要求を満足しているかを確認する
- 候補製品を比較選定する
- 第三者が利用者の立場で客観評価を行う

## ■ 標準化の必要性

- 品質要件に対する合意基盤が必要
  - 要求を出す側と受ける側の共通理解の促進
- 評価の客観性、反復性、定量性が必要
  - 結果の信頼性、信憑性の保証
- 受け入れ、選定の拠り所となる評価方法、基準が必要
  - 評価結果の解釈の一貫性の保証

# SC7/WG6のタイトルとスコープ(2009/5更新)

## ***Title:***

***Software Product and System Quality***

## ***Scope:***

***Development of Standards and Technical Reports for Software Product and System Quality Requirements, Measurement and Evaluation***

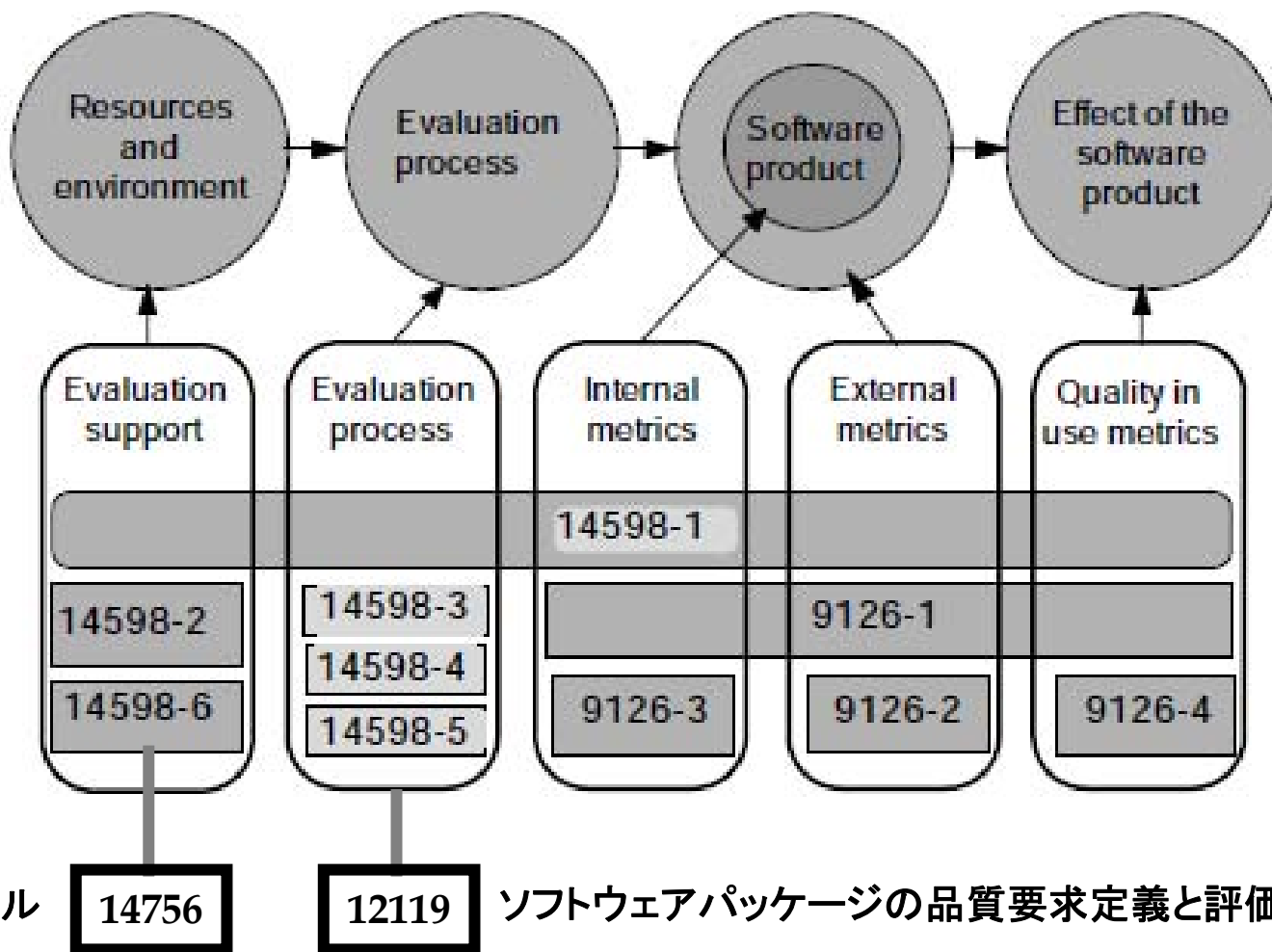
# ISO/IEC 9126 & 14598シリーズの構成

ソフトウェアの品質特性とメトリクスを規定したISO/IEC 9126シリーズと評価プロセスを規定したISO/IEC 14598シリーズで構成

規格番号：発行年（上段） JIS番号：発行年（下段）	規格名称（上段） JIS名称（下段）	状態	概要
ISO/IEC 9126-1:2001 JIS X 0129-1:2003	Software engineering - Product quality - Part 1: Quality model ソフトウェア製品の品質 - 第1部:品質モデル	有効	品質特性及び副特性の定義
ISO/IEC TR 9126-2:2003 TS X 0111-2:2009	Software engineering - Product quality - Part 2: External metrics ソフトウェア製品の品質 - 第2部:JIS X 0129-1による外部測定法	有効	外部品質メトリクスの定義
ISO/IEC TR 9126-3:2003 TS X 0111-3:2009	Software engineering - Product quality - Part 3: Internal metrics ソフトウェア製品の品質 - 第3部:JIS X 0129-1による内部測定法	有効	内部品質メトリクスの定義
ISO/IEC TR 9126-4:2004 TS X 0111-4:2009	Software engineering - Product quality - Part 4: Quality in use metrics ソフトウェア製品の品質 - 第4部:JIS X 0129-1による利用時の品質測定法	有効	利用時の品質メトリクスの定義
ISO/IEC 14598-1:1999 JIS X 0133-1:1999	Information technology - Software product evaluation - Part 1: General overview ソフトウェア製品の評価 - 第1部:全体的概観	有効	品質評価の基本用語の定義と基本概念
ISO/IEC 14598-2:2000 JIS X 0133-2:2001	Software engineering - Product evaluation - Part 2: Planning and management ソフトウェア製品の評価 - 第2部:計画及び管理	有効	品質評価の推進計画と組織的な支援
ISO/IEC 14598-3:2000 JIS X 0133-3:2001	Software engineering - Product evaluation - Part 3: Process for developers ソフトウェア製品の評価 - 第3部:開発者のプロセス	有効	開発局面での品質評価プロセス
ISO/IEC 14598-4:1999 JIS X 0133-4:2001	Software engineering - Product evaluation - Part 4: Process for acquirers ソフトウェア製品の評価 - 第4部:取得者のプロセス	有効	調達時の品質評価プロセス
ISO/IEC 14598-5:1998 JIS X 0133-5:1999	Information technology - Software product evaluation - Part 5: Process for evaluators ソフトウェア製品の評価 - 第5部:評価者のプロセス	有効	第三者による品質評価プロセス
ISO/IEC 14598-6:2001 JIS X 0133-6:2002	Software engineering - Product evaluation - Part 6: Documentation of evaluation modules ソフトウェア製品の評価 - 第6部:評価モジュールの文書化	有効	評価技術のパッケージング
ISO/IEC 12119:1994 JIS X 0152:1995	Information technology - Software packages - Quality requirements and testing ソフトウェアパッケージ - 品質要求事項及び試験	ISO/IEC 25051 発行に伴い廃止 JISは有効	ソフトウェアパッケージの品質要求事項の定義と試験
ISO/IEC 14756:1999 JIS X 0136:2001	Information technology - Measurement and rating of performance of computer-based software systems コンピュータを利用したソフトウェアシステムのための性能の測定及び評定	有効	効率性評価の技法

込山, "上流品質向上に関するソフトウェア評価技術の国際標準化動向", 情報処理, Vol.50, No.5より引用

# ISO/IEC 9126 & 14598シリーズ規格の関連



効率性の  
評価モジュール

14756

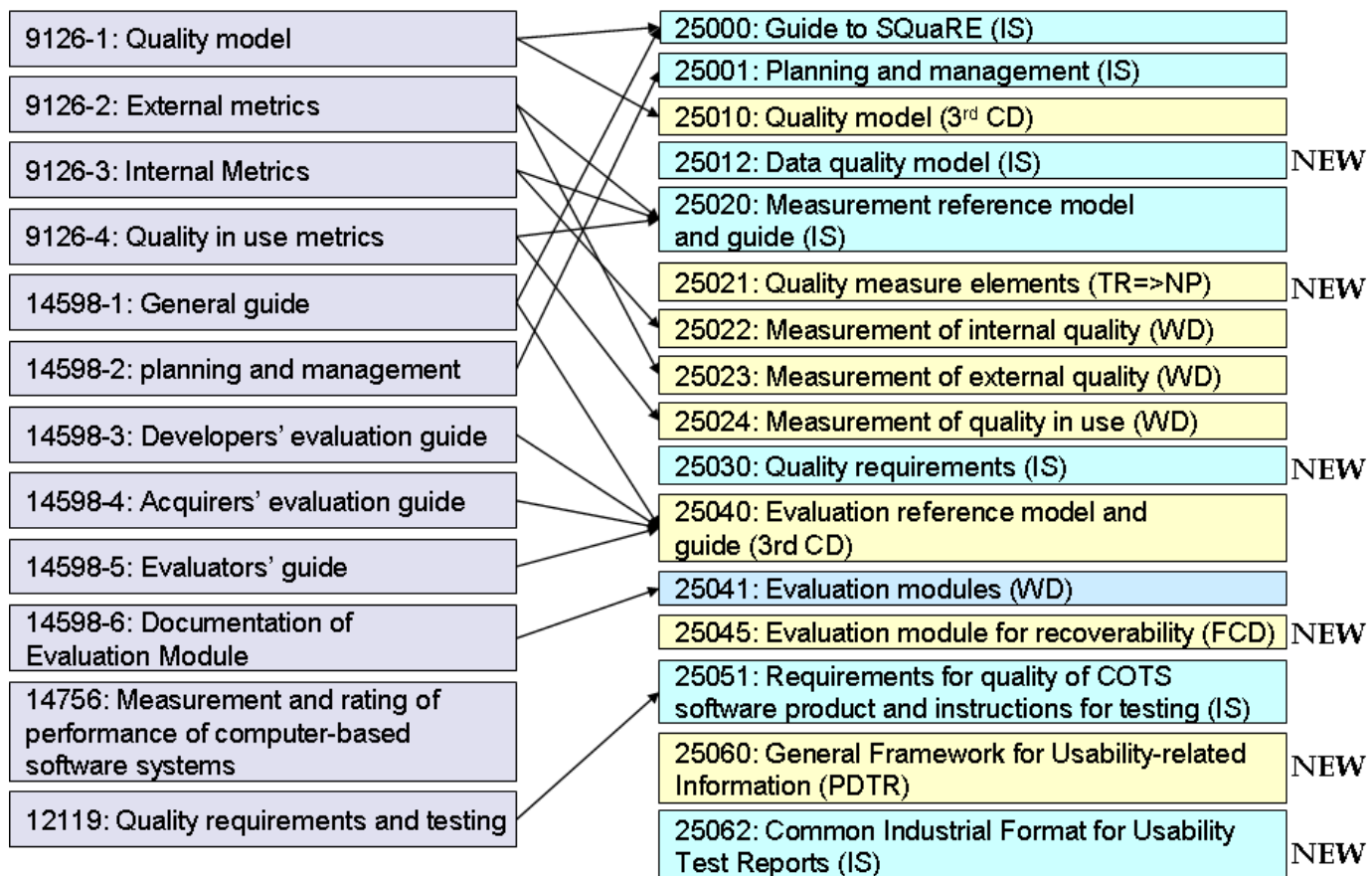
12119

ソフトウェアパッケージの品質要求定義と評価

ISO/IEC 9126-1:2001 Quality modelより引用

# 9126&14598とSQuaREの関係と強化ポイント

- ◆最新の技術動向に合致した規格内容の見直し(例:品質モデルの構成と対応する測定量)
- ◆品質要件定義プロセス、データ品質、基本品質測定量に関する規格の制定



# SQuaREシリーズの構造

## ISO/IEC 25000 series: Software product Quality Requirements and Evaluation (SQuaRE)

### ISO/IEC 2503n: Quality Requirements Division

25030: Quality Requirements

### ISO/IEC 2501n: Quality Model Division

25010: Quality Model

25012: Data Quality Model

### ISO/IEC 2500n: Quality Management Division

25000: Guide to SQuaRE

25001: Planning and Management

### ISO/IEC 2502n: Quality Measurement Division

25020: Measurement Reference Model and guide

25021: Quality Measure Elements

25022: Measurement of Internal Quality

25023: Measurement of External Quality

25024: Measurement of Quality in Use

### ISO/IEC 2504n: Quality Evaluation Division

25040: Evaluation Reference Model and Guide

25041: Evaluation Module

25045: Evaluation Module for Recoverability

### ISO/IEC 25050 ~ 25099: Extension Division

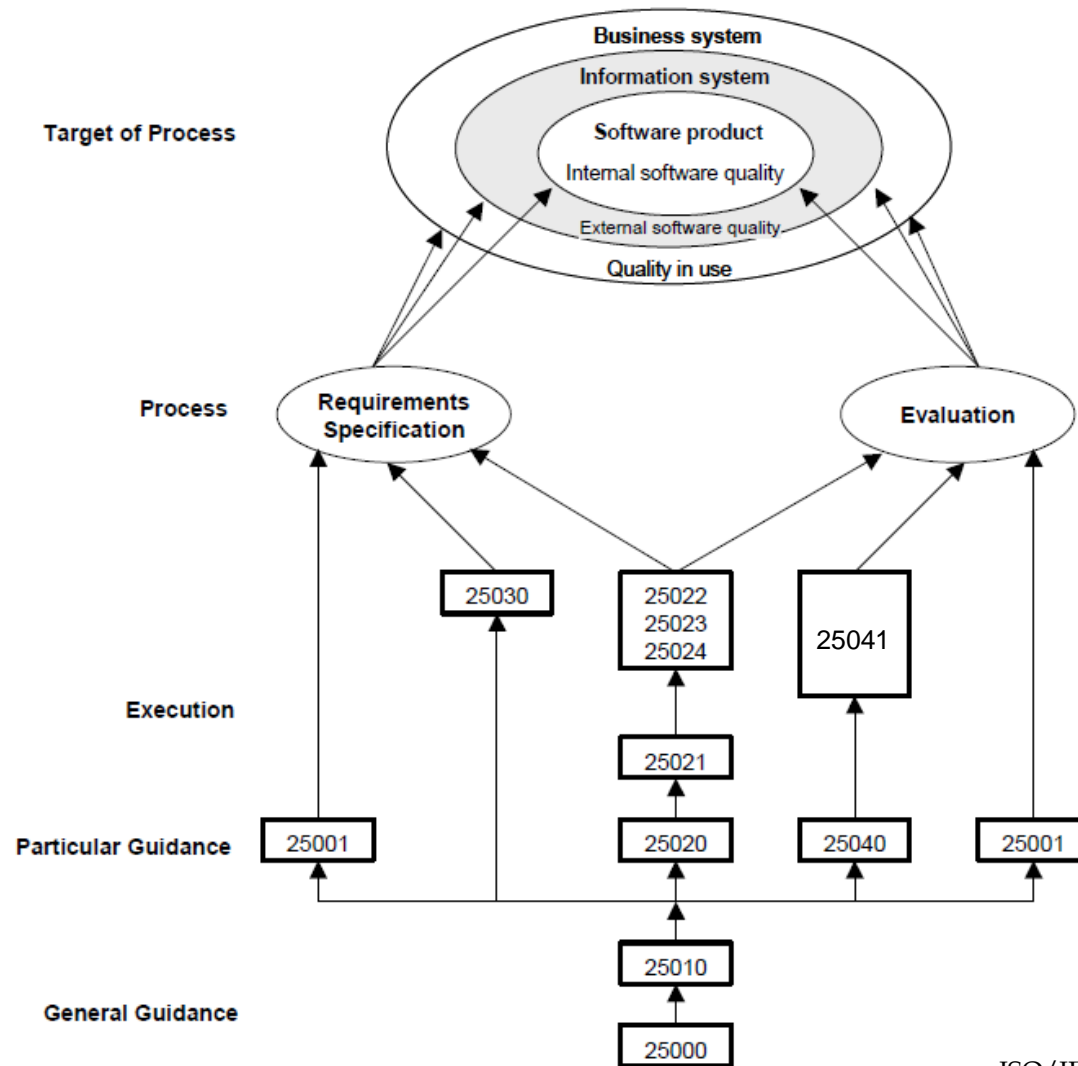
25051: Requirements for Quality of COTS Software Product and Instructions for Testing

25060: General Framework for Usability-related Information

25062: Common Industrial Format for Usability Test Reports

■:発行済 ■:制定中

# SQuaREシリーズ規格の関連



ISO/IEC 25000:2005 Guide to SQuaREより引用

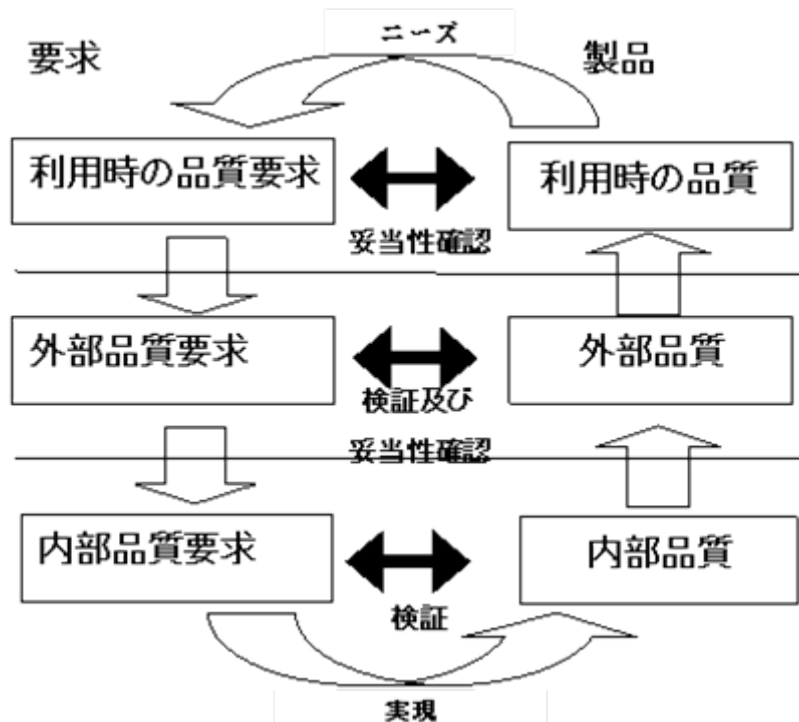
# SQuaREの概要－全般的な概念

## ■ 関連規格

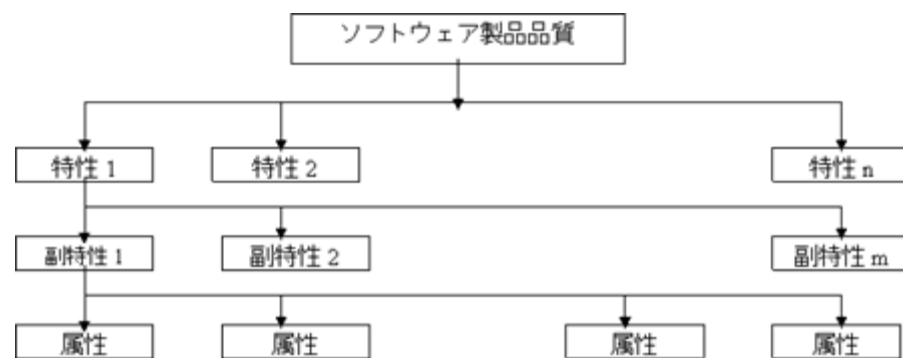
- SQuaRE: ISO/IEC 25000 (JIS X 25000)
- 現行: ISO/IEC 9126-1 (JIS X 0129-1)、ISO/IEC 14598-1 (JIS X 0133-1)

## ■ 概略

- シリーズ全体の基本用語、基本概念をISO/IEC 25000に集約 ← 他のシリーズ規格から参照/引用



ソフトウェア製品品質のライフサイクルモデル



品質モデル構造

JIS X 25000: SQuaREの手引より引用

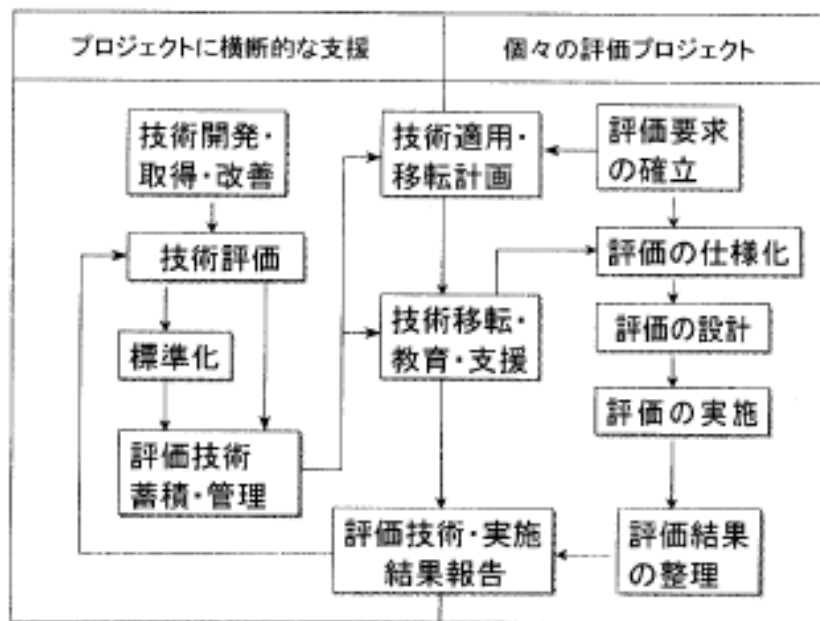
# SQuaREの概要－計画と管理

## ■ 関連規格

- SQuaRE: ISO/IEC 25001
- 現行: ISO/IEC 14598-2(JIS X 0133-2)

## ■ 概略

- ソフトウェアの品質評価を組織的かつ計画的に実践し、評価技術の蓄積と向上するための要求事項を規定



技術管理のフロー

JIS X 0133-1:1999 全体的概観(解説)より引用

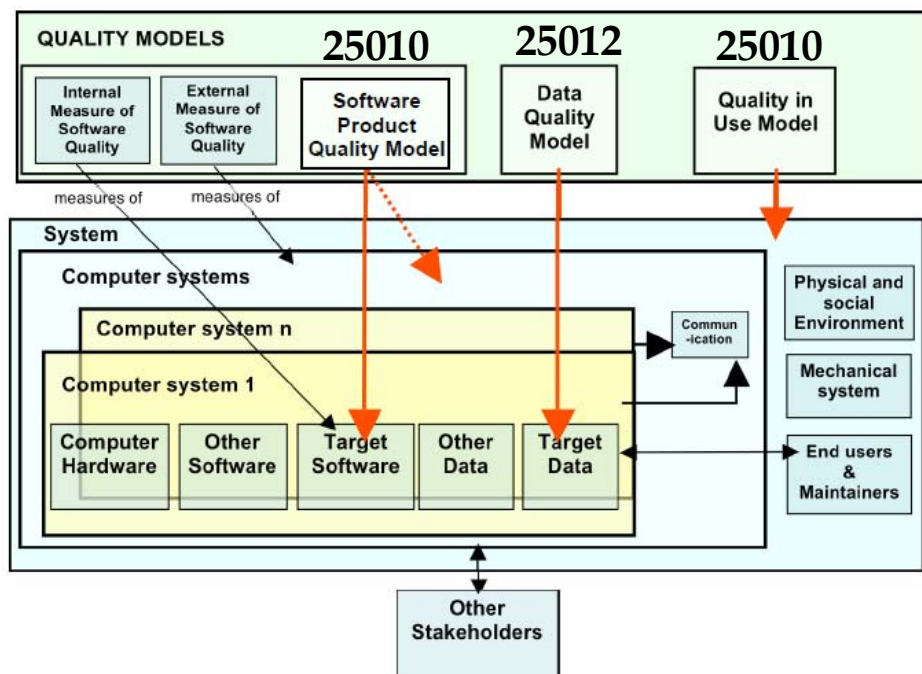
# SQuaREの概要－品質モデル

## ■ 関連規格

- SQuaRE: ISO/IEC 25010(審議中)、ISO/IEC 25012
- 現行: ISO/IEC 9126-1(JIS X 0129-1)

## ■ 概略

- ソフトウェア製品に加え、ソフトウェアで処理されるデータの品質モデルをISO/IEC 25012に規定
- 現行規格が国際的に広く利用されている現状に鑑み、継承性を重視するとともに、インターネットの普及やオープン化に対応した品質特性を強化(審議中)



品質モデル間の関連



・データの一貫性、正確性、機密性など、データ品質特性を規定

・ソフト製品品質に関しては、セキュリティ、一貫性などに関する特性をより詳細に規定

ISO/IEC CD 25010.3 Quality modelより引用

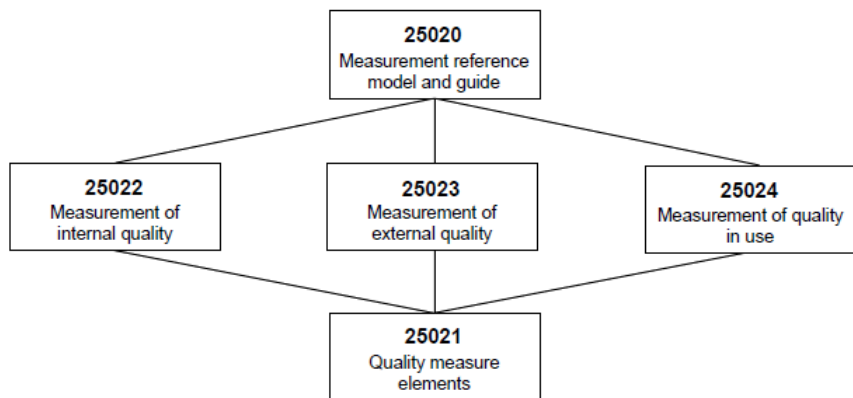
# SQuaREの概要－品質測定

## ■ 関連規格

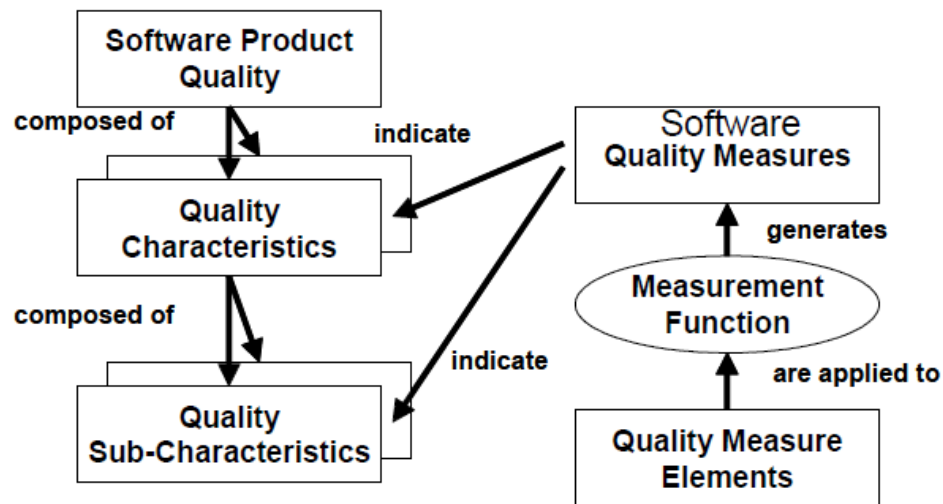
- SQuaRE: ISO/IEC 25020、ISO/IEC TR 25021 (IS化予定)、ISO/IEC 25022/23/24 (審議中)
- 現行: ISO/IEC 9126-2/3/4 (TS X 0111-2、3、4)

## ■ 概略

- 品質測定の基本概念をISO/IEC 25020に集約
- ISO/IEC 15939: Measurement Process (JIS X 0141)との整合(例: Metricsは使わずMeasure(測定量)を使う)
- ソフトウェア製品品質評価のための主要な要素データをQME(基本品質測定量)としてISO/IEC 25021に規定(例: 規模、欠陥数など)



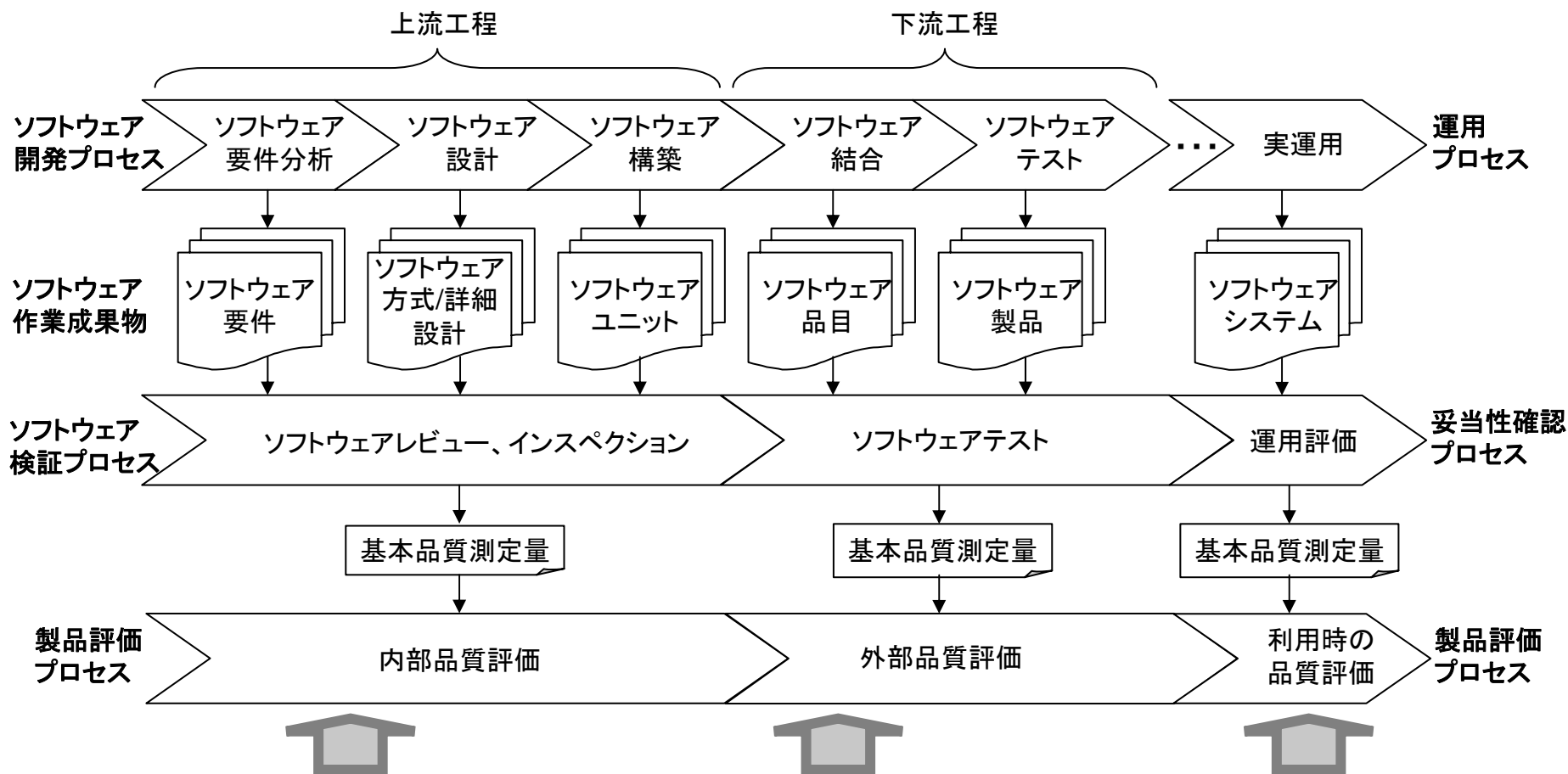
品質測定部門の構成



ソフトウェア製品品質測定参照モデル

ISO/IEC 25020:2007 Measurement reference model and guideより引用

# <参考>SQuaREにおける品質測定の実態



ISO/IEC 25010(ソフトウェア製品品質モデル)  
ISO/IEC 25022(内部品質測定量)

ISO/IEC 25010(ソフトウェア製品品質モデル)  
ISO/IEC 25023(外部品質測定量)

ISO/IEC 25010(利用時の品質モデル)  
ISO/IEC 25024(利用時の品質測定量)

## <参考>TS X 0111-2~3の品質測定量

- 現行の標準仕様書には、ソフトウェア業界で比較的広く活用されているものと十分に成熟していないものが混在している
- 製品に求められる特性に応じて選択的に適用することが望まれる

ISO/IEC 9126-1 (JIS X 0129-1) の内部/外部品質特性	機能性				信頼性				使用性				効率性			保守性			移植性				計					
ISO/IEC 9126-1 (JIS X 0129-1) の内部/外部品質副特性	合目的性	正確性	相互運用性	セキュリティ	機能性標準適合性	成熟性	障害許容性	回復性	信頼性標準適合性	理解性	習得性	運用性	魅力性	使用性標準適合性	時間効率性	資源効率性	効率性標準適合性	解析性	変更性	安定性	試験性	保守性標準適合性		環境適合性	設置性	共存性	置換性	移植性標準適合性
ISO/IEC 9126-3 (TS X 0111-3) の内部品質測定量の数	4	2	2	4	2	3	2	2	1	4	1	10	2	1	3	5	1	2	1	2	3	1	5	3	1	2	1	70
ISO/IEC 9126-2 (TS X 0111-2) の外部品質測定量の数	4	3	2	3	2	8	3	6	1	7	7	11	2	1	10	13	1	5	5	2	3	1	5	2	1	3	1	112
ISO/IEC 9126-1 (JIS X 0129-1) の利用時の品質特性	有効性				生産性				安全性				満足性				計											
ISO/IEC 9126-4 (TS X 0111-4) の利用時の品質測定量の数	3				5				4				3				15											

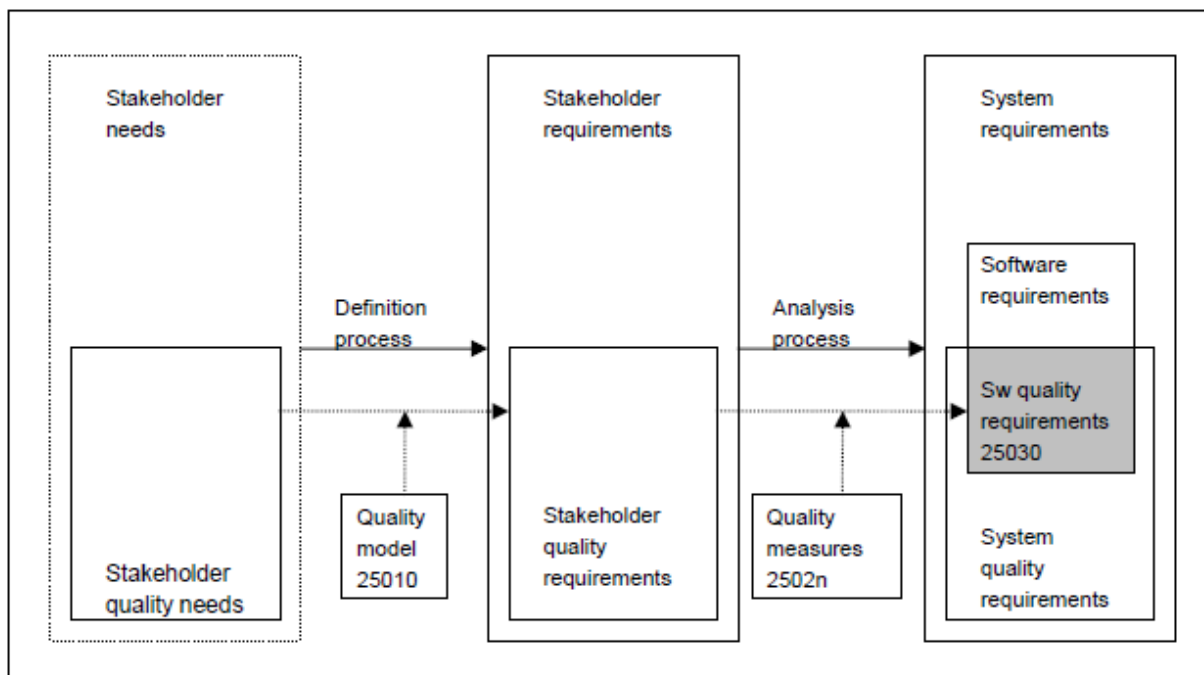
# SQuaREの概要－品質要件定義

## ■ 関連規格

- SQuaRE: ISO/IEC 25030
- 現行規格:なし

## ■ 概略

- ソフトウェア製品の品質要件定義に関連する基本概念、並びにSQuaREシリーズで規定する品質モデルや品質測定量を活用した品質要件定義の作業要求事項を規定



## ソフトウェア品質要件の定義と分析

ISO/IEC 25030:2007 Quality requirementsより引用

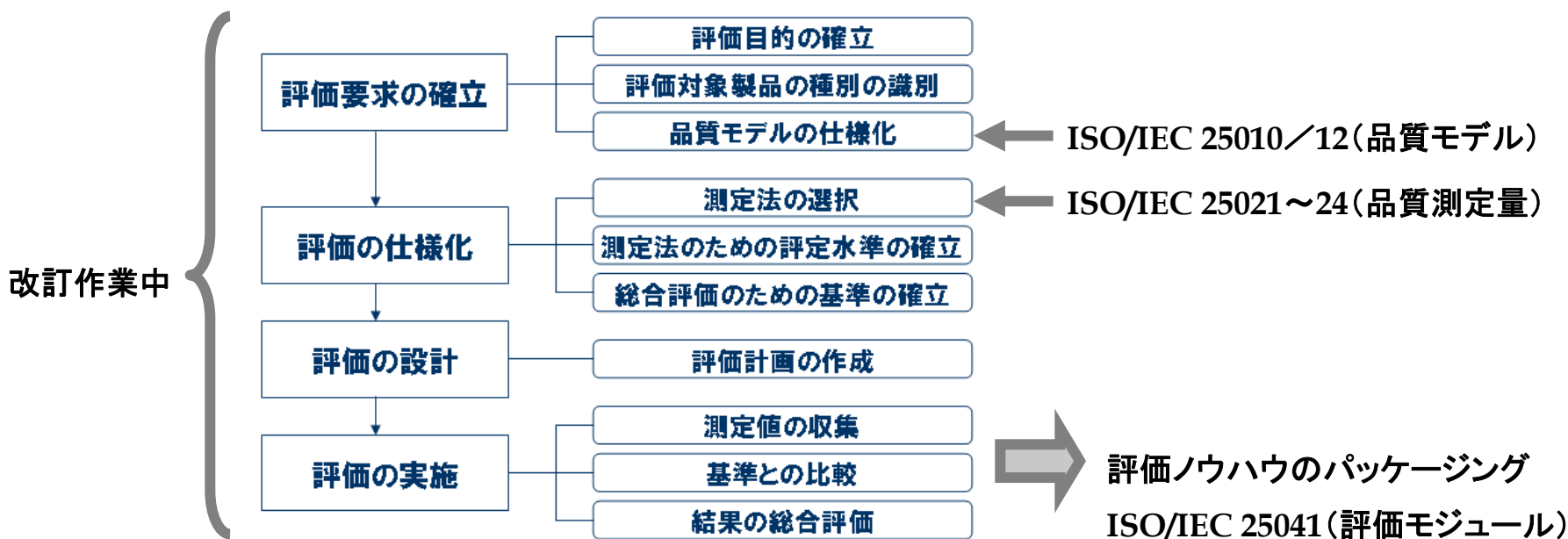
# SQuaREの概要－品質評価

## ■ 関連規格

- SQuaRE: ISO/IEC 25040/41/45(審議中)
- 現行規格: ISO/IEC 14598-1/3/4/5/6(JIS X 0133-1/3/4/5/6)、ISO/IEC 14765(JIS X0136)

## ■ 概略

- ISO/IEC 25040に、品質評価の一般的なプロセスを規定。開発者、取得者、独立した評価者が、一般的な評価プロセスを固有の目的や局面に合わせて適用する際の要求事項や考慮事項は、付属書として同規格に集約。
- 品質評価のノウハウを蓄積、活用するための様式を評価モジュールとして規定。又、品質(副)特性に応じたインスタンスを規定(例: 効率性－ISO/IEC 14756、回復性－ISO/IEC 25045)。



ISO/IEC 14598-1の評価プロセス

JIS X 0133-1:1999 全体的概観より引用

# SQuaREの概要－その他

## ■ 関連規格

- SQuaRE: ISO/IEC 25051、ISO/IEC 25060(審議中)、ISO/IEC 25062
- 現行規格:ISO/IEC 12119(JIS X0152)

## ■ 概略

- SQuaREのコア部での規定事項、推奨事項を、特定のコンテキストで使いやすくするための規格やTRを制定
- 今後も、産業界、利用者からのニーズに応じて拡張

ISO/IEC 25051: Requirements for Quality of  
COTS Software Product and Instructions  
for Testing

SQuaREで規定した品質モデル、品質  
測定量などを活用して、テストングラボ  
などが、パッケージソフトウェアの評価、  
認証する際に参照

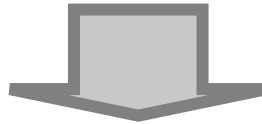
ISO/IEC 25060: General Framework for  
Usability-related Information

使用性を重視したソフトウェア製品評価を  
実施する際の、使用性評価に関連する仕様や  
報告書、並びに使用性試験の標準フォーマット  
などを規定

ISO/IEC 25062: Common Industrial  
Format for Usability Test Reports

# 今後に向けて

- ソフトウェア品質要件の抽出、定義、合意のベースとして、ISO/IEC 25010:品質モデルの国際合意を確立
- 品質評価の実践に不可欠な品質測定量の規格化の加速  
⇒我が国からの積極的な提案
- SQuaRE適用促進と適用結果に基づく強化



- 評価技術の活用による、ソフトウェア製品の品質向上、競争力向上、利便性向上、そして安全・安心な情報インフラの構築に貢献